



Niterra

特殊陶業実業(上海)



Beyond ceramics, eXceeding imagination

Niterra

特殊陶業実業(上海)

日本特殊陶業(上海)有限公司

副総経理: 翁庆



1936年に設立された日本特殊陶業は、名古屋に本社を構える著名な自動車部品メーカーです。同社は主にスパークプラグ、酸素センサー、およびそれに関連する精密セラミック製品の設計、開発、製造、販売に力を入れています。NGKとNTKの2つのブランド名を持ち、スパークプラグと酸素センサーの分野で世界をリードするメーカーの一つです。

日本特殊陶業は、世界屈指の自動車部品メーカーとして、世界中に生産拠点と販売網を有し、高品質な製品、絶え間ない技術革新、グローバルなビジネス展開を通じて、自動車および産業分野の顧客に信頼できる技術ソリューションを提供する企業です。

2003年に中国市場に参入して以来、上海特殊陶業、常熟特殊陶業、特殊陶業実業の3つの子会社を設立し、中国の主要な自動車メーカー、エンジンメーカー、アフターマーケット向けに高品質な製品とサービスを提供しています。

① こんにちは。貴社は1936年に設立された、自動車部品のスパークプラグと酸素センサーの世界的なトップメーカーですが、昨年社名とロゴが変更されましたね。

そうですね。日本特殊陶業は、NGKとNTKという世界的に有名な2つのブランドを持ち、スパークプラグと酸素センサーの分野で世界をリードする企業の一つです。近年、自動車産業のEV化が急速に進展しており、従来の内燃機関の使用が徐々に減少すると予想されます。このため、事業ポートフォリオの転換を総合的に推進し、内燃機関部品サプライヤーとしての市場の認識を改めるために、2023年4月1日付で英文社名とロゴマークを「Niterra」に変更する大きな決断をしました。ラテン語の「NITEO (輝く)」と「TERRA (地球)」を組み合わせた「Niterra (ニテラ)」は、持続可能な社会に貢献し、地球環境を輝かせる企業になるという私たちのビジョンを表しています。

② それは本当に大きな変化ですね。現在の貴社を取り巻く市場状況はどうですか？

私たちが主に携わっている自動車産業は、現在大きな技術革新の最中にあり、新エネルギー車の発展は不可逆的な流れとなっています。2023年の中国乗用車市場では販売台数が2600万台を上回り、そのうち純電気自動車の販売台数は600万台を超え、普及率は24%に達しました。純電気自動車の普及率は今後も上昇し続けるでしょう。競争分野の多くの企業も変革を加速しており、伝統的な内燃機関部品のサポート事業から徐々に撤退しています。このような背景のもと、当社は事業ポートフォリオの転換を加速させる一方で、内燃機関分野のお客様に対し既存製品のサポートとサービスを提供し続け、技術変革期を円滑に乗り切る支援を行っています。



③ 次の事業戦略、非内燃機関市場における強みを活かした市場・顧客の開拓について教えてください。

今後、当社はモビリティ、環境エネルギー、医療、情報通信の4つの分野に注力し、事業を大きく拡大していきます。中国市場における新エネルギー車の需要の急増を受け、新エネルギー関連製品の開発・普及に注力する新事業開発部門を設立しました。Niterraのコアコンピタンスの一つは、グローバルな顧客基盤です。確立された製品ラインが業界をリードし、様々な製品が顧客に広く採用されています。これは、当社と顧客との信頼、協力関係が非常に良好であることを示しており、新製品開発とマーケティングの強固な基盤となっています。また、長年自動車業界に携わってきた経験は、新製品や新規顧客の開拓に大きな自信を与えています。

④ 中国での現地化の進展は？

当社は長年にわたり、現地化を徐々に推進してきました。現地スタッフの総合的な能力と資質の向上、組織の有効性と競争力の向上、顧客に対する迅速かつ効率的なサービスの提供に向けた取り組みを行ってきました。特に近年は、より多くの現地スタッフが改革プロセスに参加できるよう、階層別にリーダーシップ開発プログラムを開始しました。これにより、現地従業員が成長し、会社運営や経営において重要な役割を担うようになりました。現在、OEM事業部門とアフターマーケット事業部門の副総経理には中国人社員が就任しており、ほぼすべての本部長や部門長のポストが現地化されています。また、日本本社は業務上の必要に応じて、中国法人に日本人スタッフを常駐コーディネーターとして派遣し、中国法人と日本本社間のコミュニケーションを円滑に進むよう支援しています。これにより、現地に根ざした経営を実現しつつ、事業推進の円滑化を図っています。



⑤ 人材育成と今後の展望について教えてください。

当社は人材を会社の重要な資産と捉え、組織が戦略的目標を達成するための強固な基盤であると常に考えています。人材育成プログラムの積極的な推進と業務効率の向上を通じて、この理念を堅持しています。近年、当社は多角的な人材育成システムの構築に力を入れ、社内インストラクターの育成だけでなく、外部リソースを活用したトレーニングも行っています。また、今年はデジタル管理を人材育成に統合するHRaaSラーニングシステムを立ち上げ、様々なビジネスと人材タイプに適応するラーニングマップに基づく人材育成プログラムを確立しました。将来的には、学習する組織を確立し、従業員自身の学習を奨励することで、持続可能な発展を目指しています。私たちは、「Beyond Ceramics, eXceeding Imagination」を企業ビジョンに掲げ、新しい日本特殊陶業を創造することを目指しています。新製品・新事業開発への投資を拡大し、新たな事業領域を開拓することで、事業の変革を目指します。これからも、高品質な製品と優れたサービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

~~取材を終えて~~

このインタビューを通じて感じたのは、Niterraという会社が非常に強い企業文化を持ち、想像力に富んだ会社であるということです。従来のセラミックス産業が消え去ることはないでしょうが、同社は従来の枠を超えて挑戦し、これまでにない未来を描こうとしています。Niterraの今後の発展にとっても期待しています！

喜島孝広